

経営比較分析表（令和6年度決算）

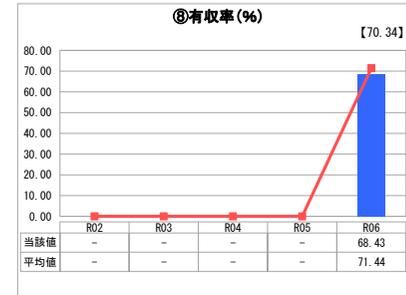
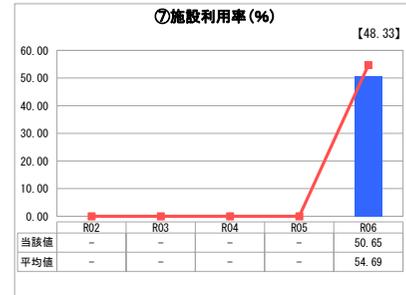
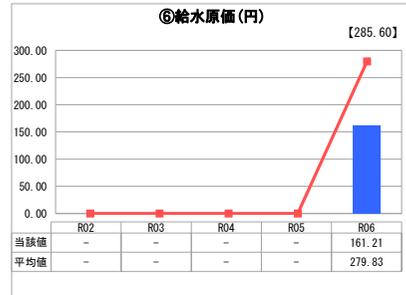
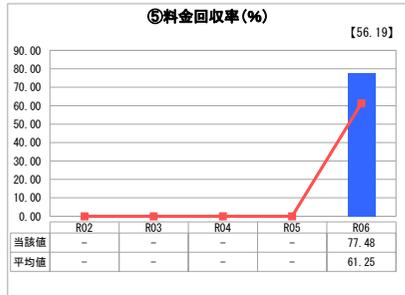
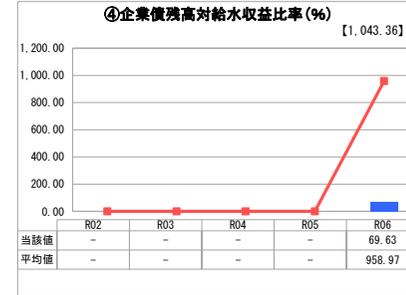
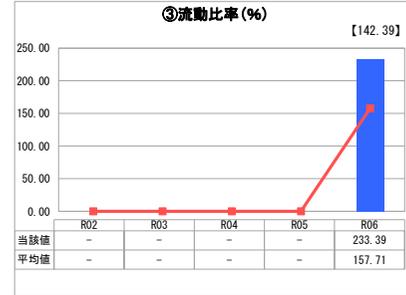
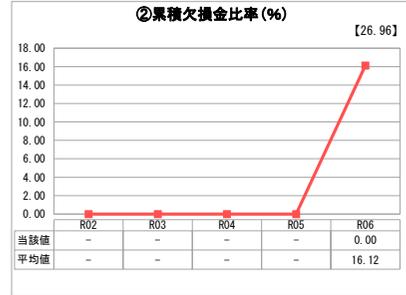
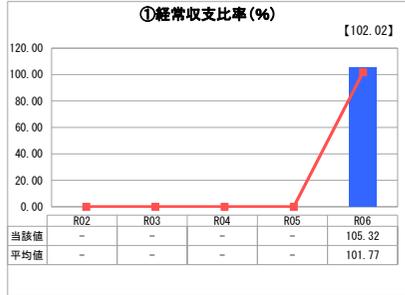
神奈川県 清川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	95.66	97.92	2,280	

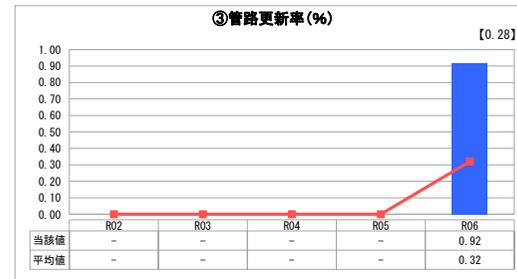
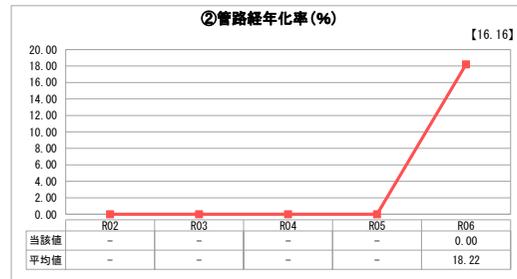
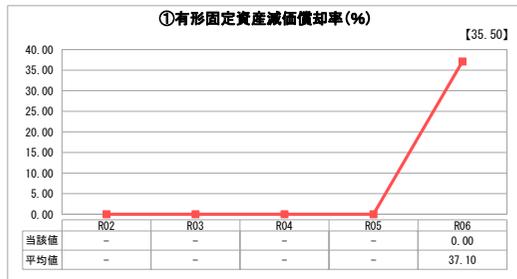
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,716	71.24	38.12
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,633	4.50	585.11

分析種別	当該団体値(当該値)	類似団体平均値(平均値)	令和6年度全国平均
① 経常収支比率(%)	102.02	101.77	
② 累積欠損金比率(%)	26.96	16.12	
③ 流動比率(%)	142.39	157.71	
④ 企業債残高対給水収益比率(%)	1,043.36	958.97	
⑤ 料金回収率(%)	56.19	61.25	
⑥ 給水原価(円)	285.60	279.83	
⑦ 施設利用率(%)	48.33	54.69	
⑧ 有収率(%)	70.34	71.44	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析種別

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度から地方公営企業法の財務規定を適用したため、令和5年度以前の数値は表示されていません。

① 経常収支比率
100%を上回り黒字となっています。

② 累積欠損金比率
累積欠損は発生していません。

③ 流動比率
建設改良費に充てられた企業債の償還金がないため、高い値となっています。

④ 企業債残高対給水収益比率
類似団体平均と比較して低い水準となっています。

⑤ 料金回収率
料金回収率は100%を下回っており、類似団体平均と比較して若干高い水準となっています。これは料金水準が低いことが要因となっています。

⑥ 給水原価
給水原価は類似団体平均と比較して低い水準となっていることから、浄水処理経費等が低いことが要因となっています。

⑦ 施設利用率
施設利用率は概ね50%となっていますが、季節的な需要量の増大があり得るため、負荷等を考慮すると適切な施設規模であると分析できます。

⑧ 有収率
有収率は類似団体平均と比較して若干低い値となっています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
令和6年度は地方公営企業法適用初年度であり、前年度以前の減価償却累計額を含まないため、低い水準となっています。

② 管路老朽化率
法定耐用年数を経過した管路はないものの、今後耐用年数に達する管路が増加することが想定されるため、次期の更新事業に取り組む必要があります。

③ 管路改善率
今後、耐用年数に達する管路が増加することが想定され次期の更新事業に取り組む必要があることから、財源の確保や投資計画の見直しが必要です。

全体総括

水道事業は、取水施設及び浄水場を始めとする施設は供用開始して34年が経過し、設備等の老朽化に伴い維持管理費が増加傾向となっています。

令和6年度から水道料金の改定を行っていますが、料金回収率は低い水準となっており、一般会計からの繰り入れに依存した経営状況となっています。

このため、簡易水道事業実施計画に基づいた施設・設備の計画的な更新を進めていくとともに、水道料金の改定や効率的な経営に務めるなど、持続可能な水道事業運営を目指していきます。